

今週の大阪・関西万博 **週報** (7/9～7/15)
 ～ 開催まで あと **271** 日です! ～



1. 海外パビリオンの状況

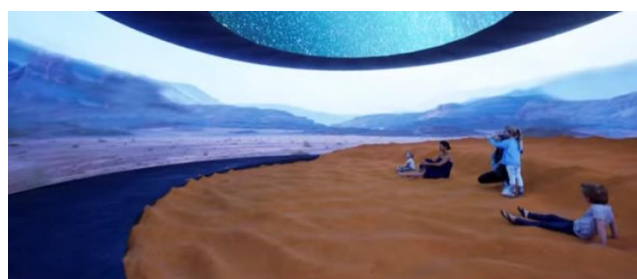
□ 海外パビリオンのうち、協会が建物を用意する単独館（タイプB）や共同館（タイプC）の建物の工事が完成した。全9棟あり、順次敷地が参加国に引き渡され、タイプBについては内外装・展示工事、タイプCについては展示工事が施される予定。



左上、右上：タイプC内観・タイプB内観、左下・右下：タイプC外観・タイプB外観

(写真提供：博覧会協会)

□ 7/11（木）、ヨルダンに対して博覧会協会が建設し参加国が内外装の設計を行うタイプBが引き渡された。ヨルダンパビリオンのテーマは「未来を紡ぐ」。現在から過去に遡（さかのぼ）ってヨルダンの歴史や文化を紹介。メイン空間には、奈良県上北山村産のスギを用い、ヨルダンの砂漠の砂を敷き詰める。同空間は万博終了後こども園として使われる予定。



左、右：引き渡し式、メイン空間イメージ図

【記事 URL】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240712-04/>



【現在の参加国等の状況】（7月11日現在）

- ・独自パビリオン（タイプA、タイプX）：52 か国
- ・協会用意の単独館（タイプB）：17 か国
- ・公式参加契約締結国数：123 か国・国際機関
- ・敷地を引き渡した国：45 か国
- ・同共同館（タイプC）：92 か国
- ・施工事業者が決まった国：43 か国
- ・着工済みの国：35 か国

2. 今週・先週の主な活動／今週以降の予定

□ 7/10（水）より、博覧会協会と ANA（大阪・関西万博 PR パートナー）が連携し、NFT を活用した、関西 3 空港周遊スタンプラリーを期間限定で実施。①大阪国際空港（伊丹空港）、②関西国際空港、③神戸空港で各 1 種類、計 3 種類の NFT を配布するとともに、3 空港の NFT スタンプラリーを達成された方には飛行機写真の特別な NFT を配布。

※NFT（非代替性トークン）：ブロックチェーン上に記録される一意で代替不可能なデータ単位

- 必要なアプリ：EXP02025DIGITAL WALLET (<https://expo2025-wallet.com>)
- 参加費：無料
- 期間：2024 年 7 月 10 日～2025 年 1 月 10 日
- 配布場所：
 - ・大阪国際空港（伊丹空港）：南ターミナル 2 階 ANA 自動チェックイン機横
 - ・関西国際空港：ANA 国内線カウンター
 - ・神戸空港：ANA 5 番カウンター



（配布する NFT イメージ）



【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240710-02/>

□ 7/11（木）、十倉雅和・経団連会長（博覧会協会会長）は大阪・夢洲で開催に向けて工事が進む万博会場を視察し、万博のシンボルとなる大屋根リングや海外パビリオンの建設状況を視察した。十倉会長は大阪市内で関西経済界の関係者と懇談した、「工事が着実に進んでいる様子を視察し、開幕まで 300 日を切っているという実感がわいた。今後、参加国などからコンテンツが発表されてくるにつれ、万博への関心が高まっていくことを期待したい」と述べた。

懇談のあと、十倉会長は記者会見に臨み、「建設については、事故なく安全に、スケジュールどおりに進めていくことが大事で、どういう運営をするかが焦点となるので、いよいよ正念場だ。前売券の販売についてはコンテンツの発表やパビリオンの予約開始で関心が高まってくると思うので、販売目標である 1400 万枚については維持したい」と述べた。

3. チケット販売の状況

◇ チケット販売枚数 : 322 万 4,799 枚（2024 年 7 月 10 日現在）